

## 2019 年度 入学式 学長式辞

新入生の皆さん、ご入学、まことにおめでとうございます。希望に満ちた、皆さん一人一人の顔を拝見し、心から嬉しく思います。我々、こども教育宝仙大学の教職員一同は、皆さんのご入学を心から歓迎させていただきます。

保護者の皆様も、この日を心待ちにされ、肩の荷を、少しは降ろされたかと思えます。心からお祝いを申し上げます。

また、ご来賓の皆様におかれましては、年度初めの何かとお忙しい中、ご臨席を賜り、まことにありがとうございます。

本日は、新たなスタートの日として、まことにふさわしい日だということ、まず申し上げます。

昨日、新年号が発表されました。5月からは、「令和」という新たな時代が始まります。「令和」の意味については色々と説明がなされていますが、その中に新入生の皆さんに本当にふさわしい表現がありました。

『春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが、明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることができる』、そのような願いを込めた年号とのこと。この願いのとおり、新入生の皆さんが、それぞれの、いわば『世界に一つだけの花』を、大きく咲かせるためのスタートの日になる、と思えます。

本学について言えば、本年度から、皆さんが学ばれるカリキュラムを、一新しております。皆さんが、幼稚園教諭や保育士という、保育者となって育てる、こども達が、時代に対応して成長し続けるよう全面的に見直したものです。

本学自体にとりましても、4年制大学となって11年目のスタートの年となります。本学園の幼児教育には、90年を超える歴史がありますが、時代の要請を受け4年制大学に改組し、本年度が11年目です。新たなスタートとして捉えています。

また私自身も本年度から学長となり、皆さんと同様、期待と緊張の中、新年度を迎えております。

色々な面で、スタートとしてふさわしい日に皆さんをお迎えして、本当に嬉しいかぎりです。

さて、「令和」の時代は、どんな時代になるのでしょうか。

昭和から平成に移る時、経済は右肩上がり当たり前で、不動産価格も株価も、毎年高騰していく時代でした。多くの方がそのような時代が続くと予想されていました。ただ一部の方は、これはバブルだと見抜かれ、実際、平成の時代は、失われた 20 年とも言われるバブル崩壊の時期を経験することになりました。

平成から「令和」に替わるに際し、その変化はどうなるのでしょうか。今回も色々な萌芽が見られます。まず AI、人工知能やロボットの時代が来る、と言われており、第 4 次産業革命とも言われています。労働人口の約半数の仕事が奪われると予想される方もおられます。

また長寿化が更に進み、2000 年生まれの方が中心の皆さんは、半数以上が 100 歳、2100 年、22 世紀、までの人生を歩むと予測されています。昭和から平成に替わり、ご主人が働き奥様が主婦をされる、専業主婦の時代から、ダブルインカム、共働きの時代に大きく変わりました。これからは、いくつかの職業を経験するマルチステージの時代と言われています。夫婦が共に副業も持ちながら、また時には夫婦が交替しながら働くことが一般的になるかも知れません。

このように大きな変化が予想される、「令和」という時代に、皆さんが選ばれたのは、保育者という進路です。AI やロボットでは中々代替できない仕事であり、かつ、こどもを育て、未来を作り上げる、大変有意義な仕事です。本当に良い選択をされたと思います。

皆さんが優れた保育者になるために、我々教職員一同は、全面的にバックアップさせていただきます。教育実習や、保育実習では、他の大学や学部の学生とは異なり、一足先に、社会を経験することになります。社会の厳しさに触れ、大変な面もあり、くじけそうになるかも知れません。でも先輩達は、何とかそれを乗り越え、巣立っていき、優れた保育者として活躍されています。

また、大学時代は、勉強やサークル活動等を通じて、生涯の友人と出会えるチャンスでもあります。同学年の方、先輩、後輩、そして学外の方とも、色々な活動を通じて、知り合い、理解し合い、助け合うことも、大切なことです。是非色々なことを経験していただきたいと思います。

「令和」時代に保育者となられる皆さんには、新たな時代を、こども達と共に作り上げる、大きな期待が寄せられています。素晴らしい未来を作る、優れた保育者になるため、一緒に学んでいきましょう。我々教職員一同は、皆さんのチャレンジを全力で応援致します。

2019 年度新入生の皆さんが充実した大学生活を送られることを、心から祈念し、入学式式辞とさせていただきます。